

機械器具 16 体温計

管理 電子体温計（JMDNコード：14032010）

テルモ電子体温計C203

【警告】

・子供だけで使わせないでください。[本品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがをすることがあります。]

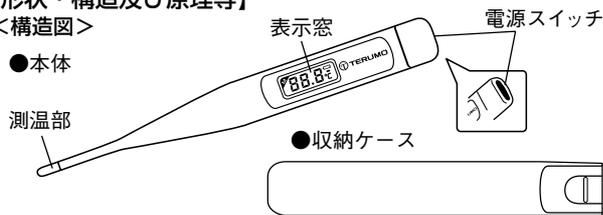
【禁忌・禁止】

<使用方法>

・引火性のある環境では使用しないでください。[引火又は爆発の誘引となる可能性があります。]

【形状・構造及び原理等】

<構造図>



●表示部 ※説明のため、全点灯で表示しています。

「前回値表示」マーク
前回値表示中に点灯する。

「電池電圧低下」マーク
電池電圧の低下時に点灯する。

「予測」マーク
予測中及び予測値表示中に点灯する。

外観寸法：長さ121.5mm×幅15.3mm×厚さ10.6mm
質量：約9g
付属品：添付文書、品質保証書、技術サポート、収納ケース

<原理>

本品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、検温開始から約4分30秒までは予測値、それ以降は実測値の最高値をデジタルで表示する。検温中は、約50～120秒（平均90秒）の時間に予測が成立されたことを知らせるブザーが鳴り、検温をそのまま続けると約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

【機器の分類】

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

【電気的定格】

電源：アルカリ電池（LR41）1個（交換不可）
電圧：DC1.5V
消費電力：約0.1W

本品はEMC規格 IEC 60601-1-2：2001に適合している

【付帯機能】

初期動作確認機能（告知機能）：電源ON時に所定の表示を行い検温可能を告知する。
予測完了ブザー機能（告知機能）：予測検温終了時にブザーが鳴動する。
定時ブザー機能（告知機能）：検温開始から約10分後にブザーが鳴動する。
エラー表示機能（告知機能）：検温不良時、ブザーが鳴動し、表示部に「E」を表示する。
電源入切機能（電源制御機能）：電源スイッチを押す毎に電源がON/OFFする。
オートパワーオフ機能（自動電源遮断機能）：検温を行わず所定の時間放置すると電源が遮断する。また、検温終了後所定の時間放置すると電源が遮断する。

【使用目的、効能又は効果】

<使用目的>

本品は体温値の測定に使用する。

【品目仕様等】

【特性・性能又は機能に関する規格】

- ・最高温度保持機能：実測表示に切替後は、実測した最高の温度値を保持し、検温を終了しても電源がOFFされる又は、オートパワーオフするまで表示を維持する
- ・デジタル表示：3桁デジタル
- ・最大許容誤差（温度指示精度）：±0.1℃以内（標準温度計に対して）

- ・電源電圧：「電池電圧低下」マークが表示される直前の電圧にて温度表示値が±0.2℃以内
- ・防 浸：試験前後の温度表示値の差が±0.1℃以内
- ・測温範囲：32.0～42.0℃
- ・最小表示単位：0.1℃
- ・測定範囲外告知（オーバー表示機能）：測定温度が42.0℃を超えると表示部に「0」を表示し、測定範囲外を告知する

【その他の仕様】

種類：一般用 測温部一体形 一部防浸形
測温方式：予測式（予測検温・実測検温兼用）
検温部位：腋下
検温時間：予測検温時間 平均90秒（50～120秒）
測定開始後、約4分30秒後実測表示に切替
実測検温時間 約10分

使用条件：温度 10～40℃ 相対湿度 30～85%RH（ただし、結露なきこと）
保管条件：温度 -10～50℃ 相対湿度 10～95%RH（ただし、結露なきこと）

【操作方法又は使用方法等】

【検温のしかた】

1

電源スイッチを入れる。

電源スイッチを押した後、「前回値表示」マークと前回の測定値が、約2秒間表示されます。

2

ワキ下中央にななめ下から深く入れてしっかり閉じる。

「88.8℃」が表示されているのを確認してから検温開始。

横向きだと測温部が出てしまうからダメ。

3

平均90秒後

ふとんの中などで聞こえにくかったら、2分をめやすに。

と鳴ったら取り出す。

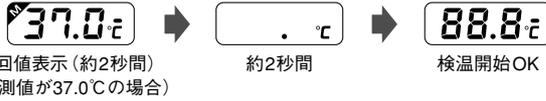
4

電源スイッチを押して電源を切る。

電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源が切れます。

予測検温のしかた

- 電源スイッチを押す。
表示が下記のように切り替わります。



※購入後初めて使用するとき、前回値はありませんので最初に「88.8°C」と表示されます。

- ワキ下の中央に体温計の先端(測温部)をあてます。
(ワキ下中央が最も温度の高い所です)
・ワキ下に汗をかいている場合は、タオルなどで汗を拭き取ってください。[汗をかいたまま測ると、ワキ下が冷えているために正確に検温できません。]
- 体温計をななめ下から30°くらいの角度で、押し上げるようにはさみ、ワキをしっかりしめます。
体温計をはさんだ方の手のひらを上に向け、もう一方の手でひじを脇腹に押さえつけるようにすると、ワキ下をしっかりと閉じることができます。
・検温中は、体温計の測温部が正しい位置からずれないように、体を動かしたり、体温計を動かしたりしないでください。[正確な検温ができないことがあります。]
・体温計を真横からはさまないでください。[先端がワキ下中央に正しくあたらないために、正確な検温ができません。]
・ワキ下に強く密着させて測定してください。[お年寄り、やせている方などで、ワキ下の密着が弱い場合は、正確な検温ができない可能性があります。]
- ブザーが鳴ったら(平均90秒後)取り出します。
予測検温終了です。
※正しい検温方法で検温しなかった場合、正しい予測結果が得られないことがあります。
・取り出してから表示値が変化したときは、変化後の(固定した)値を読みとってください。[予測演算が終了するまで若干の時間がかかるためです。]
・数値を読みとる際、体温計の先端に触れないでください。[表示が変化することがあります。]
- 電源スイッチを押して電源を切る。
電源を切り忘れても、約3分後に自動的に電源が切れます。



くり返し検温するときは：

少し時間をおくなど体温計の先端を冷ましてから検温してください。
[そのまま測ると、測定値が高くなることがあります。]

実測検温のしかた

医師の指示などにより特に厳密な体温管理が必要な場合は、実測検温を行ってください。

上記の「予測検温のしかた」の4で、

ブザーが鳴っても取り出さずに体温計をワキ下にはさみ続けます。



検温開始から約10分後にふたたびブザーが鳴ったら、検温終了です。

<使用方法に関連する使用上の注意>

故障が疑われる場合には、まず以下の項目について確認をお願いします。それでも問題があるときは、別紙の「保証規定」をお読みのうえアフターサービスをお申し付けください。

現象	原因	処置
検温するたびに、温度の数値が違う。	体温は、時間帯、気温、睡眠、感情などの要因で常に変動しています。また個人差、年齢などでも違いが見られます。[自分の正しい平熱をあらかじめ検温しておいてください。] 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから検温してください。	
(右記の場合はまれに低めに表示される)	体温計の測温部が正しい位置に当てられていない。 体が冷え切っていたためにワキ下の温度が低い。 体温計が冷えている。	[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。 手などで体温計全体を温めてから再度検温してください。
(右記の場合はまれに高めに表示される)	すでにワキ下の温度があたりすぎている。	ワキ下をゆるめ少し時間を置いてから[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。

現象	原因	処置
いったん高めの表示が出て、下がってからブザーが鳴る。	予測演算の途中のため。(正常な動作です)	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。
ワキ下から取り出したとき表示が変わる。	取り出しても予測演算が終了するまで若干の時間がかかるため。(正常な動作です)	表示が固定されてから、数値を読み取ってください。
	測温部に指などが触れて、検温が再スタートした。	測温部に指などが触れないようにしてください。
□のみが表示される。	電池が消耗している。	新しい体温計をお買い求めください。
37.0°C 数値が点滅する。	1回目のブザーが鳴る前に、体温計が大きすぎた。	[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。
Eが表示される。	1回目のブザーが鳴る前に、体温計がはずれた。	[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。
0が表示される。	測定値が42°Cをこえている。	体温測定以外に使用しないでください。
37.0°C 「予測」マークが消えている。	検温開始から4分30秒以上経過し、実測値を表示している。	予測検温する場合は、再度検温してください。
ブザーが止まらない。	静電気による誤動作。	電源スイッチを6秒以上押し続けて電源をいったん切ってから、再度電源を入れ直してください。
初期表示が正常でない。	静電気による誤動作。	
88.8°C の表示がずっと続いている。(なかなか温度を表示しない/なかなか音が鳴らない)	体温計測温部の温度が低い。外気温が低い。 体温計測温部の温度が高い。外気温が高い。	手などで体温計全体を温めて表示が現れるのを確認してから、再度検温してください。 体温計の測温部をいったんぬれタオルなどで冷やしてから、再度検温してください。
再検温の際、ブザーが鳴らず、前回の表示が残っている。	体温計の測温部の温度が高いため測定が開始されていない。	少し時間を置いて冷ますから、体温計の測温部をいったんぬれタオルなどで冷やしてから再度検温してください。
10分経過時のブザーが鳴らない。	1回目のブザーが鳴った後、体温計の位置がずれた。	[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。
ワキ下から取り出したときに何も表示されていない。	1回目のブザーが鳴った後、体温計の位置がずれた。 体温計をあてるときなどに電源スイッチに触れて、電源が切れた。	[検温のしかた]の項に従い、再度検温してください。 電源を入れ直して、再度検温してください。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 人の体温測定以外に使用しないでください。[けがの可能性あります。誤作動や故障の原因となります。]
- 測定結果の自己診断、治療は行わないでください。[自己診断、治療は危険です。]
- 添付文書を確認の上、使用してください。
- ワキ下以外(口中など)で使用しないでください。[正確な検温ができません。]
- 使用の前に、外観に破損等がないことを確認してください。[測定値の異常や、けがの可能性あります。]
- 破損したものは使用しないでください。[測定値の異常や、けがの可能性あります。]
- 強くかまない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っぱらないでください。[故障の原因となります。]
- 強い静電気や電磁波に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないでください。[誤作動や故障の原因となります。]
- 本品に液体や異物が入らないように注意してください。[液体や異物が入ると内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。]
- 本品は気密構造ではないので、活性ガス(消毒用ガスも含む)環境や多湿環境等で使用、放置しないでください。[内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により故障の原因となります。]
- 分解、修理、改造は行わないでください。[故障の原因となります。]

どうしてそんなにはやいの？
90秒のヒミツ
 ワキの下の温度って、いつも体の中と同じなの？

テルモ電子体温計C203は、
 平均90秒で検温できます。

…ということは、水銀計などの
 実測式体温計が3～5分なのと
 比べて、わりとはやいですね。



ちょっと待って！

いいえ、本当は実測式
 で10分以上かかる正
 しい検温値を、わずか
 90秒で分析・演算し
 ているのです。

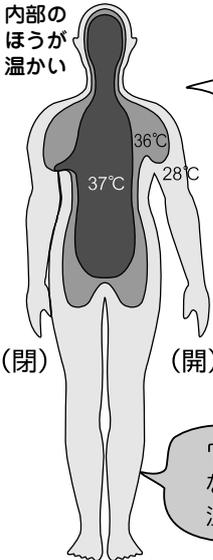


えっ
 びっぴ

どうい
 うこ
 と？



本当は実測式だと10分以上も
 かかるって、どういうこと？



体の温度は、表面と内部で
 かなり違うんだ

正確な体温とは、脳や内臓など、
 変化しにくい体の内部の温度のこ
 とをいいます。ワキの下は、あ
 る程度温まっているように思えま
 すが、多少外気に触れているので、
 すぐに正確な体温が測れるわけ
 ではないのです。

ワキを10分以上しっかり閉じてい
 ないと、体の内部と同じぐらいの
 温度にならないんだ

ワキ下と口中の温度
 は異なります。

(このようにして完全に温まったとき
 の温度を「平衡温」といいます)



今までの数値より、
 少し高い気がするけれど…？

実測式で3～5分で測った場合と比べていま
 せんか？10分より短い時間で測っていたなら、
 ワキの下が十分に温まっていないので、低めの
 値が出ていたのかもしれない。
 実際、正しく測った場合の日本人の平均体温（健
 康時）は36.89℃±0.34℃*です。だから
 37.0℃でも、平均的な平熱の範囲内であり、
 発熱とは限らないのです。



ワキの
 場合

健康時に何度か
 測って、自分の
 正しい平熱を
 確かめておく
 といいよ！

*田坂定孝：日新医学 44：633, 1957



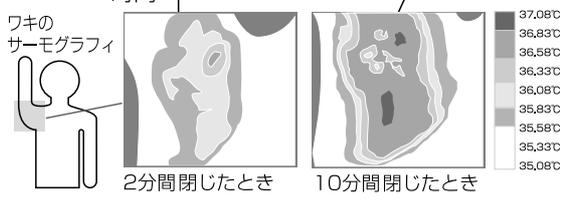
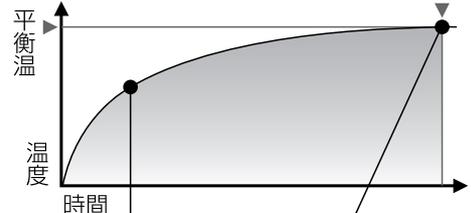
なぜ、テルモの予測式体温計は、
 平均90秒で測れるの？

テルモの予測式体温計は、多数の体温測定デ
 ータを内蔵のマイクロコンピュータに記憶し
 ています。このため、測定開始から数十秒間
 のワキ下の温まり方を細かく分析、演算して、
 平均90秒で「平衡温」を予測して表示してい
 ます。



テルモの
 予測式体温計は
 病院でも
 広く使われて
 いるんだよ！

ワキの下を閉じてからの温度変化



【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

- ・暖房器具のそば、車の中、日光のあたるところ、ほこりの多いところ、湿気の多いところを避けて保管してください。

保管条件：周囲温度 -10～50℃

相対湿度 10～95%RH（ただし、結露なきこと）

【保管上の注意】

- ・日光や紫外線などの強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないでください。[外装の変色や劣化が発生することがあります。]
- ・収納ケースに収める際、乾いた布などで水気を拭き取ってください。[本品の表示窓部分及びスイッチ部分は防水構造ではないため、水気がついたまま収納ケースに保管すると故障の原因になります。]

【電池について】

- ・1日1回（10分）の検温で約3年間ご使用になれます。
- ・電池が消耗してくると表示窓に  のみが表示され、検温できなくなります。
- ・電池の誤飲事故を防ぐために、電池は交換できない構造になっています。電池が切れた場合は新しい体温計をお買い求めください。古い体温計は各自自治体のルールに従って、適正に廃棄してください。

【保守・点検に係る事項】

【保守点検上の注意】

- ・しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入るなど）を確認してから使用してください。
- ・本品の汚れがひどい場合は、布などを水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ってください。
- ・水洗いしないでください。[本品の表示窓部分及びスイッチ部分は防水構造ではないため、故障の原因となります。]
- ・シンナー等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないでください。[有機溶剤や使用可能な消毒剤以外を使用した場合、本品の破損、変色や故障の原因となります。ポビドンヨードで拭くと色素が付着することがあります。]
- ・消毒液等に水没させないでください。消毒する際は、先端部のみを必要な時間だけ浸し、その他の部分は脱脂綿などで拭いてください。[本品の表示窓部分及びスイッチ部分は防水構造ではないため、故障の原因となります。必要な時間については消毒液の添付文書を参照ください。]
- ・ドライヤーなどを使用して乾燥させないでください。[本品が破損する可能性があります。]
- ・熱湯消毒しないでください。[故障の原因となります。]
- ・クレゾールは使用しないでください。[故障の原因となります。]
- ・超音波洗浄はしないでください。

【包装】

- ・1個/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：テルモ株式会社

住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

電 話 番 号：0120-00-8178 テルモ・コールセンター
(9:00～17:00 ただし土・日・祝日を除く)

外国製造所の名称：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国 名：中華人民共和国

